



# Meet Japan!

資料 3 - 7

# 高品質 4 K映像 凸版印刷の取組のご紹介

2016年12月19日

凸版印刷株式会社 トップランアイデアセンター  
クリエイティブ本部 映像企画部 CIC

# 何故、4 Kなのか？

規格・仕様上での4 K映像が出現し始めている。

新しく、革新的な情報コミュニケーションメソッドである4 Kが

放送・配信を行う上で、ユーザーと事業者にとって

**従来のフルハイビジョンと、何が・どこが違うのか？**

メリット・デメリット、あるべき姿を、**正確に捉える**必要がある。



Printeractive 4K とは  
静止画へ切出し、印刷適性の高い（A4サイズ程度まで）多彩な活用ができる高品質4 K映像品質データ。

# 「感じる」を、感性（感覚器）に、**ダイレクトに伝える**ことができる 現存する、**唯一の感性** 新視聴覚メディア

まるで、その場にいるような臨場感。

時間・空間を超える



その体感性が、特徴

言葉や、静止画像（写真）では伝えきれない  
高品質 4 K 映像ならではの、ディテールの再現性や体感特性を活用することで  
日本や、地域が誇るべき、技術や**魅力を世界に発信する**と同時に、次世代へ  
伝承・活用されるべき**情報資産**として、**地域エンゲージメントの向上**を実現する。

# 実は、レンズが命

## 色収差という、ピンボケのような現象



撮影する実空間は、可視光線によって人間の目に「像」として認識されているが可視光線は、紫～赤までの、波長によって構成されており電波と同じように、波長によって、そのレンズ透過時の屈折率が異なる。

レンズを通して「像」を結ぶ時（結像）この屈折率の違いを補正する必要が生じこの補正精度によって結像状態の品質が決まってしまう。

結像状態の悪い状況を、いくら高精細の撮像素子が録画を行っても、ピンボケのような不鮮明な撮影が行われてしまう。

4K映像が829万画素（TVアスペクト比）に対し現在、静止画像（写真）の世界は、2,000万画素が一般的で1億万画素オーバーの撮像素子を持つスチールカメラも存在しこれらの撮影においては、こうしたレンズ（光学）の精度が撮像品質を左右する事は、スチールプロカメラマンの世界ではごく、当たり前前の品質設計である。

一方、ビデオグラムを中心とした、フルハイビジョン対応機では207万画素という画素数から、これらレンズ（光学）設計が従来は、あまり品質を左右する主要素とは捉えられていなかった。



通常レンズ

EDレンズ



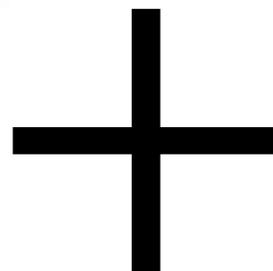
# R E D (デジタルシネマカメラ) の例



**Canon**

OR

**Nikon**®



スチール用レンズ

大型センサー

高精細デジタル映像技術 ～ CEATEC 2015 ～ (※静止画)

アジア最大級の最先端IT・エレクトロニクス総合展のCEATEC JAPAN 2015 (シーテック ジャパン)

会期 2015年10月7日～10日 於幕張メッセ

シャープ株式会社様

業務用85V型8K映像モニター LV-85001

上映用例画像

超高精細・高コントラスト・広色域が実現した  
先進のリアル映像。8K解像度の高画質映像モニター



# 革新的な伝達手段である、4 Kの真価を活用するために

## 高品質

### 撮影・制作・運用 4 Kである必然性

- ・撮像（撮影）技術
- ・伝送技術
- ・品質評価/品質保証
- ・活用のためのDB設計
- ・マルチデバイス対応

### 収益スキームの構築 情報資産化と、多彩な活用

- ・体感型/臨場感の実現・活用
- ・デジタルアーカイブ・伝承
- ・グローバルコミュニケーション
- ・地域エンゲージメントの向上・教育
- ・マルチユースのための品質担保

## 安心・安全 データセキュリティ

- ・サプライチェーンの構築
- ・ウィルス・ハッキング・コピーガード
- ・ユーザー・取材/被写体・個人情報保護

## 著作権管理 ライツコントロール

- ・知的財産権（著作権・著作権）・ステークホルダー
- ・肖像権・プライバシー権・パブリシティ
- ・撮影許諾・報道とコンテンツビジネス・CSR/BPO

# 急拡大するパーソナル・デジタル・デバイスへ対応し 情報コミュニケーションの最適化を、効率的に実現する

<活用スキーム構築>

## ①ワンソース・マルチ ユース Meet Japan!

固有（地域など）コンテンツ 情報資産化・アーカイブス

**空間座標**：エリアプロモーション、インバウンド、日本創生（情報発信ソース活用）

**時間軸**：次世代への情報遺産・定住率向上などの地域の魅力向上（伝承メディア活用）

→エリア経済の活性化、世代伝承など、地域エンゲージメントの向上

<高品質クリエイティブの確立> ①を支える 品質保証体制

## ②ワンソース・マルチ デバイス



動画・静止画、同時生成（撮影）

印刷・配信・放送・サイネージ等 = 高効率な マルチデバイス対応コンテンツ制作

# 地域の**情報資産**として共有し、多彩な領域で活用する。 ワンソース・マルチユースの実現。

地域の優れた文化・芸能や、技術を  
幅広く伝え、コミュニケーションを創る活動

環境や技術伝承、価値観など  
地域内の後世へ残し続ける活動

**エリアメッセージ**  
**(高品質 情報アセット)**

ステークホルダーコミュニケーション

文化・芸能・技術・環境  
伝承すべき教育テーマ

広報・情報誌  
エリアプロモーション

高品質4K  
情報資産化  
アーカイブ

高精細デジタル化・4K化

マルチユース展開  
静止画切出し・ダウンコンバート

印刷物  
出版物

HP・Web  
電子出版  
汎用デジタルデータ  
(ハイビジョン)



放送・配信  
高精細4K液晶  
PC・タブレット・スマホ  
電子出版

高精細4K液晶  
4Kデジタルサイネージ

(参考)

日本版DMO形成・確立の必要性

これまでの観光地域づくりの課題

関係者の巻き込みが不十分

・文化、農林漁業、商工業、環境、スポーツなど地域の関連事業者や住民等の多様な関係者の巻き込みが不十分  
⇒地域の幅広い資源の最大限の活用につながらない  
⇒地域住民の誇りと愛着を醸成する豊かな地域づくりにつながらない

データの収集・分析が不十分

・来訪客に関するデータの収集・分析が不十分。観光客を十把一絡げに扱っている地域が少なくない  
⇒ターゲットとなる顧客層や地域のコンセプトが十分に練られていない  
⇒変化する観光市場に対応できない

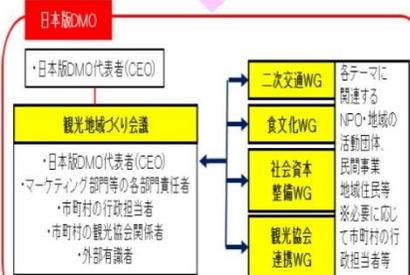
民間的手法の導入が不十分

・効果的なブランディングやプロモーションといった民間的手法の導入が不十分  
⇒観光客に対して、「刺さる」競争力を持つ観光地ブランディングができていない。

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役＝「日本版DMO」を各地域で形成・確立

関係者の巻き込み  
内外の人材やノウハウの取り込み

人材 内外から取り込み ノウハウ



データの収集・戦略の策定

例)富良野・美瑛観光圏によるSWOT分析

	好影響	悪影響
内部環境	<b>【強み】Strength</b> ・ヨーロッパを思わせる自然景観 ・札幌圏・旭川圏へのアクセスも良く、空港とも近い地理条件	<b>【弱み】Weakness</b> ・公共交通アクセスの不便 ・夜の観光の魅力不足 ・自然環境の破壊 ・宿泊施設が不足
外部環境	<b>【機会】Opportunity</b> ・エコツーリズム・スローツーリズムなどの追い風 ・団塊世代の退職に伴う市場拡大 ・外国人観光客の増加	<b>【脅威】Threat</b> ・ペンション・ホテル・飲食店の担い手不足 ・交通渋滞による住民の歓迎意識の ・他の観光

ブランド力を高める仕組み

例)雪国観光圏「SAKURA QUALITY」

・雪国観光圏では、外国人の受入体制などにより宿泊施設等の評価を行う品質認証制度「サクラクオリティ」を導入。



プロモーション

(例)外国人職員による効果的なプロモーション



出展:国土交通省 日本版DMO



# Meet Japan! トッパンオリジナル高品質4 K映像コンテンツ

第23回世界スカウトジャンボリーの巨大4 K LEDで上映  
 開会式、皇太子・首相のご挨拶のインターバル映像として採用  
 4年に1回、世界スカウト機構が開くキャンプ大会で、国内開催は44年ぶり2回目。  
 参加者は約150か国・地域から約3万4000人に及ぶといい、  
 会場には8000張りを超すテントが並んでいる。日本の魅力を伝えるコンテンツとして  
 開会式と、皇太子殿下と首相のご挨拶のインターバル映像として上映。



## ミラノ万博

ジャパンサローネ JAブース  
 日本の魅力・農産物輸出推進（和牛・米）  
 （北海道・鶴岡・遠野他のコンテンツが採用）



## 山形県鶴岡市

日本で唯一、ユネスコの食文化創造都市の  
 認定を持つ、山形県鶴岡市・庄内の万博イベント  
 紹介PVを制作、10/2.3現地で上映され  
 今後もマルチユース展開を計画中。  
 農水省：食と農の景勝地認定





# Meet Japan!

■ ライツビジネス × **地方創生**

## 「食」で、日本を元気にする。

日本初ユネスコ食文化創造都市、山形県鶴岡市。食と食文化の魅力を溢れるシズル感で伝えます。  
地方創生、地産地消のパイオニア、アルケッチャーノ 奥田政行オーナーシェフ。

山形県鶴岡市  
**地産地消**提唱の第一人者  
アルケッチャーノ オーナーシェフ  
奥田政行シェフ



### 活用のシーン

圧倒的な臨場感が特徴の4K解像度デバイスは、デジタルサイネージやタブレット等で急速に普及しています。  
百貨店やコンビニ、ホテルやレストランなどのインストア(店頭・店内)での導入で、シズル感の演出に効果を発揮します。  
日本の素晴らしい食、それを支える質の高い日本の農林水産の生産者のバックストーリーと共に  
日本が世界に誇る、食の魅力を発信します。



### 2014年6月 さいか屋様

#### インストアデジタル4Kサイネージ実証実験



高精細4Kデジタルサイネージと4K映像コンテンツのイメージ

#### 「おいしさ」が実感できる映像でギフト商品の魅力をアピール

株式会社さいか屋、東芝ライフスタイル株式会社、レッドデジタルジャパン株式会社の協力のもと、さいか屋川崎店お中元ギフトセンターにおいて店頭プロモーションを実施しました。カタログと連動した食品や地域の風景など、トッパンが撮影・制作した臨場感溢れる4K映像コンテンツ(静止画・動画)を放映し、お中元ギフト商品とその魅力を伝える4Kデジタルサイネージの効果について実験・検証を行いました。

### 2016年1月 新宿プリンスホテル様

### Meet Japan!



詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.toppan.co.jp/>

[http://www.toppan.co.jp/news/2016/01/newsrelease160125\\_2.html](http://www.toppan.co.jp/news/2016/01/newsrelease160125_2.html)

#### 外国人旅行者に映像でおもてなしをオリジナル高品質4K映像コンテンツ採用

近年増え続ける外国人旅行者へ向け、サービス拡充を計る新宿プリンスホテルにおいて、日本の魅力を伝えるコンテンツとして、トッパンの4K映像が採用されました。フロントカウンター背面に大型のパノラママルチモニターを新設し、ここにトッパンの高品質4K映像や超高解像度パノラマ撮影風景等を上映し、日本のおもてなしを表現しています。



オリジナル高品質4K映像コンテンツの映像をぜひ「A Reader」でご覧ください。